

平成31年

雲南市議会 3月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成31年3月4日～3月6日】

平成 31 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/4(月) 9時30分～	10／藤原 政文	一問一答	1～2	11	3/6(水) 9時30分～	21／周藤 正志	一問一答	20～21
2		19／小林 眞二	一問一答	2～5	12		9／佐藤 隆司	一問一答	21～24
3	3/4(月) 13時00分～	18／堀江 治之	一問一答	5～6	13	3/6(水) 13時00分～	1／上代 和美	一問一答	24～26
4		8／細木 照子	一括	6～8	14		4／中村 辰眞	一問一答	26～30
5		13／安井 誉	一括	8～11	15		/		
6	3/5(火) 9時30分～	15／藤原 信宏	一問一答	11～13					
7		11／西村雄一郎	一問一答	13～15					
8	3/5(火) 13時00分～	6／矢壁 正弘	一問一答	15～17					
9		14／細田 実	一問一答	17～17					
10		12／土江 良治	一問一答	17～20					

平成 31 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 31 年 2 月 26 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	10	藤 原 政 文 (一問一答)	1. 改元にあたって の姿勢について 2. 防災体制につい て 3. 中期財政計画及 び実施計画	(1) 昨年 12 月天皇誕生日にあたり、事前の記者会見での陛下のお言葉に対し、市長の感想を伺う。また、平成年間の殆どを自治体の首長としてまちづくりに係わってこられたが、平成を振り返っての所感を伺う。 (2) 本年 5 月に新しい元号になる。新しい時代に臨む市長の姿勢を伺う。 (1) 消防団再編案が示された。OB 団員、女性団員が特定の活動に参加する機能別消防団員制度を早急に導入すべきと考える。市長の見解を伺う。 (2) 全国的に急速に広がってきている“防災士”を本市でも育成すべきだ。そのために、資格取得経費の補助、本市での資格取得講習会を実施すべきと考える。市長の見解を伺う。 (1) 農業問題について ①先ほど示された中期財政計画及び実施計画によると、農業担い手フォローアップ事業補助金は、平成 31 年度で事業完了となっている。この補助金は、要望も多く有効であると認識している。事業終了とした理由と今後の方向性について伺う。 ②平成 31 年度は、中山間地域等直接支払いの 5 年の区切りの年である。この制度も有効な制度であり、これがなくなると立ちいかなるとい声を多く聞く。5 年の区切り毎に集落協定数が減ってきているが、次の 5 年に向かって市としての姿勢について伺う。 ③先日も農業法人の経営者の方から、「国が示す“攻めの農業”は、	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4.「市の鳥」の制定 について	<p>雲南市には合わない。もっと中山間地域の農業に沿う農政を強く訴えてくれ。」というご意見をいただいた。</p> <p>改めて、市長に国に対し強く働きかけるよう要請する。市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 普通建設事業費について</p> <p>①普通建設事業費が大きく下がる。実施計画中、留意事項に「最終的な各年度の予算額を示すものではない」とされているものの、市民生活、市内経済への影響が懸念される。例えば、建設業従事者が少なくなると、災害復旧、除雪等、市民生活にも大きな影響が出る。それを含め、普通建設事業費の考え方について伺う。</p> <p>(1)昨年6月定例会一般質問で「コウノトリを生かしたまちづくり推進の財源にふるさと納税を」と質したのに対し、答弁で「4年定着すれば本物」とあった。本年に入ってからのコウノトリの動向をみると3年連続、本市での営巣から巣立ちの期待が大きいが、コウノトリは「定着」したとの認識でよいか。</p> <p>(2)「コウノトリと共生するよるまちづくり事業」、「環境基本条例」などコウノトリは、市の政策にも大きく関係してきている。コウノトリ、そして、同じく市内に生息、営巣をしている絶滅危惧Ⅰ類に分類されているクマタカ、この2種を「市の鳥」に制定すべきと考える。市長の見解を伺う。</p>	
2	19	小 林 眞 二 (一問一答)	1. 人手不足による 外国人労働者対策 について	<p>政府は、本年4月から、改正入管難民法の施行で、受け入れ拡大が見込める。外国人労働者の就労や生活のバックアップ、医療機関の体制整備など、共生社会の実現に向けて総合的な支援に乗り出す。市の見解を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市での松江 シティユース設立 について	<p>(1)今までの「外国技能実習生」の雇用による事業所、実習生の数など実態把握はされているのか。</p> <p>(2)技能実習生制度による現状での就労状況や労働者不足にどのような影響を及ぼしているか問う。</p> <p>(3)今後、「技能実習生制度」の雇用について、考え方を問う。</p> <p>(4)改正入管難民法は、「特定技能1号」という資格を新設し、5年間で最大34万5000人の外国人労働者を受け入れる方針である。産業界からの強い要望を受けての法改正であるが、雲南市において新制度の外国人労働者受け入れ拡大に対しての見解と評価を伺う。</p> <p>(5)今後、雲南市は外国人就労に対する支援策をどのように講ずるのか。</p> <p>先月2月8日の新聞に「松江シティユース設立」の記事で、初めて事業の計画を知った。後日配布された教育民生常任委員会の資料で概要は理解できたが、改めてこの計画について質問する。</p> <p>(1)初めに、市内における小・中・高校生の部活動及びスポーツクラブの数とサッカー人口を問う。</p> <p>(2)サッカーが増加傾向と示されているが、どのようなスポーツが減少しているのか問う。</p> <p>(3)同日の山陰中央新報の紙面によると、「松江シティFCが、2021年4月、下部組織となる高校生年代のユースチームを雲南市内で設立する。選手は、同市内の高校に進学し、市がグラウンドや寮などを整備する」という内容であった。今回の当初予算では、調査費50万円が計上されている段階である。この報道からは、事業が決定されたと受け止められる内容であるが、確認したい。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 各種選挙について	<p>(4)仮に「決定」しているならば、これだけの大きな事業であれば、途中経過を議会に報告すべきで、マスコミ報告では、いかにも議会軽視ではないか。</p> <p>(5)松江シティFCから将来の展望と要望書を受けたとあるが、具体的にどんな内容であったか。(H30.8.16 吉岡会長・田中監督来庁)</p> <p>(6)今事業は、期待できる効果もあるが、それ以上に懸念される課題も多くある。どんな組織で検討され、庁内での意見はどんな内容であったか。</p> <p>(7)新聞記事によると、市長も高校の魅力向上につなげたいとあり、また、教育委員会も教育魅力化推進事業の一環として行うこととしている。また、中心的な協議の場である雲南市教育魅力化推進会議が昨年12月に開かれ、事業の方向性について、確認を行うとともに、調査費を盛り込むとあるが、「高校教育の魅力化と松江シティFC受け入れ」についてどのような協議であったのか問う。</p> <p>(8)今後、財政計画の見通しが暗い中、多大な財源を投資してまでサッカーの環境整備をしなければいけないのか。調査結果次第では、「撤回」という英断も必要であるが問う。</p> <p>(1) 近年、若者の政治離れであったり、また、全国的に投票率の凋落傾向が続くことが問題となって久しい。近づく選挙について問う。</p> <p>①昨今の投票率について見解を問う。</p> <p>②住民の社会参画意識や投票率の向上に必要な対策について問う。</p> <p>(2)2015年に公職選挙法が改正され、翌年6月19日に施行された。18歳以上20歳未満の人にも選挙権が認められることになり、間もな</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>く3年を迎えようとしている。この間、3回の選挙を経たが、若者の投票行動について問う。</p> <p>①若者（18歳・19歳）の投票率は何%であったか。</p> <p>②若者の投票率の結果をどのように分析しているか。</p> <p>(3)政治離れ、投票率低下の要因に、国における公文書の改ざん、紛失、隠ぺいなど、また、最近では、統計調査の不備による問題が国会で指摘されている。雲南市ではないと思うが、改めて、公文書の取り扱いと正確な情報公開について所見を問う。</p>	
3	18	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 雲南市の幸福度ランキングについて</p> <p>2. がん検診事業について</p> <p>3. ゴールデンウィーク10連休の対応について</p>	<p>(1)島根県内各自治体の幸福度ランキングが新聞報道され、県内8市中雲南市が1番であると発表されたが、このことについて市長の所感を伺う。</p> <p>(2)この幸福度ランキング1番は、市内外へのアピールとしては大きなものが有ると思うが、今後どのように活用するのか伺う。</p> <p>(3)55項目のデータによるランキング付けとなっているが、順位の低い項目の嵩上げについて今後どのような取り組みをするのか、また新年度予算にどのように反映されているのか伺う。</p> <p>(1)生活様式の変化・長寿等に伴いがんの発症率は2人に1人が想定されると言われているが、雲南市での各がん検診毎の対象者と受診状況について伺う。</p> <p>(2)医療技術・医療機器ともに進歩して来ているが、今後のがん検診受診に対する取り組み方針について伺う。</p> <p>(1)今年の4月から5月にかけての連休は、現天皇の退位そして新天皇の即位等により異例の10連休となるが、雲南市立病院の連休中の体制と対応方針について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 健康づくり拠点 施設(ラソソテ)に ついて	<p>(2)市内の保育所・こども園・幼稚園・こども預かり等、連休中の対応方針について伺う。</p> <p>(3)市内小学校・中学校の10連休に伴う授業時間減少対策について、考えを伺う。</p> <p>(1)昨年健康づくり拠点施設が完成し供用開始されたが、運営状況の様子について伺う。</p> <p>(2)年度末を控え、平成30年度の収支決算は現状で、どのような見込となるのか伺う。</p> <p>(3)吉田(ケアポートよしだ)・三刀屋(三刀屋健康福祉センター温水プール)・木次(おろち湯ったり館)の類似施設と連携し活用することとされていたがその現状と効果について伺う。</p> <p>(4)まだ多くの人に利用してもらう必要が有るが、今後どの様な方針で取り組むのか伺う。</p>	
4	8	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 県内幸福度順位 1位は「幸運なんです！雲南です」の実現ではないか</p> <p>2. 災害弱者へ対する災害予想地図 (ハザードマップ)等の利用方周知や災害時対応に</p>	<p>(1)今年1月の地元新聞によると、島根県内8市の幸福度ランキング、分野ごと55種類の調査で、雲南市が1位であった。誕生して日も浅い雲南市が、松江市、出雲市等を抑えてこの結果は、どの様に捉えたら良いのか。市として、良い点はさらに伸ばし、改善点は積極的に改善し、この1位の座は守り続けてほしいが、市長の考えを伺う。</p> <p>(1)昨年12月議会でも「災害に対する対応」等の質問をし、答弁をいただいている。</p> <p>西日本豪雨などから、その後に解った事であるが、子供・高齢者等いわゆる災害弱者に自治体の情報が十分伝わらず、多くの犠牲者を出した可能性も指摘されている。市でも災害予想地図を配布して、注</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>ついて</p> <p>3. 昨年の国連総会で採択された「小農宣言」について</p> <p>4. 「健康寿命」を伸ばす取り組みについて</p> <p>5. J R 木次線の維持存続のためもっと日常生活に結び付ける工夫について</p> <p>6. 「竹林」の活用に向けた良い手立てについて</p>	<p>意喚起をホームページに掲載している事で、災害弱者を含めた全市民への情報体制は届くものと判断しているか伺う。</p> <p>(1) 今、世界人口は 73 億人で、30 年後には約 30% 増えて 97 億人になると予想されている。今でさえ食料不足は深刻で、飢餓人口は 8 億人だと言われる。これらを憂えて昨年の国連総会で「小農宣言」が採択されたが、日本は採択を棄権した。今、日本の食料自給率はカロリー基準 38% で、主要先進国で最下位である。これで良いのか、地域の声を国へ届けてほしいが、見解を伺う。</p> <p>(1) 日本の男女合わせた平均寿命は、いま世界トップである。しかし、元気で日常生活を送れる「健康寿命」は、これより約 10 年短い。この健康寿命を伸ばす市民指導に、今まで以上に全力を挙げて欲しいが、見解を伺う。</p> <p>(1) 汽車でもバスでも同じだが、日常的に利用しようと思うと、「行って」「帰る」事がバランス良く繋がっていることが絶対条件である。もちろん「用事内容」で時間差はあるが、それらの最大公約数をいかに掴み、いかに運行時刻に反映させるのかが大切である。そして、無人駅で良いから、利用のありそうな地域へは駅を増設する事も必要だと思う。これらについては、もっと地域住民や老人クラブの方達と話し合うことも必要である。見解を伺う。</p> <p>(1) 日本の竹林は、少しずつ増え続けている。そして島根県の竹林面積は、全国で 5 位になっている。とかく「厄介もの」扱いされている、いわゆる「放置竹林」について、有効活用の方法は考えられないか。飼料など食べ物への活用も考えられる。もちろん有効な肥料にもなる。見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			7. 高齢者の生活を支える「移動購買車」について	(1)山間部の高齢者の生活を支えるには「移動購買車」が大変に重宝すると考える。いろいろと先進地の運用方法を学んで、地域住民と充分話し合いをして、導入方検討できないか伺う。	
5	13	安 井 誉 (一 括)	1. 中山間地域における教育格差及び「美しい日本人の心」を育む教育について	<p>(1)「雲南市立学校適正規模適正配置基本計画」は、31年が最終年度。進捗状況とそれによる影響をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2)中山間地域と都市部における教育の絶対的格差は縮小されているが、その懸念は無いのか伺う。</p> <p>(3)「都市部との教育格差の是正」を目指して愛知県豊根村では、ICT(情報通信技術)を採り入れた教育に力を注いでいる。中山間地域における教育格差是正及び教育の質の確保に向けて、機器の活用は一考とも思うが所見を求める。</p> <p>(4)本年4月30日に天皇陛下がご退位になり、皇太子殿下が5月1日皇位継承される。天皇の御代替(みよが)わりに際しては、様々な儀式が執り行われる。皇位継承の諸儀式は、我が国の精神文化・伝統の継承の儀式であり、神々の時代の精神が息づく、世界に類を見ない誇るべき日本の文化である。</p> <p>①元号や日本の成り立ちについて学ぶ機会を設けることは、子どもたちに日本人としての誇り、歴史・文化を大切にする心を育むことにつながると考える。</p> <p>②この時を契機に、「美しい日本人の心」を育む教育を、是非とも推進していただきたいと願うが、所見を求める。</p> <p>(5)県立出雲養護学校雲南分教室は附属建物・施設等について、特に体育館などなく不便を強いられていると伺っており、市としても県へ要望活動などされていますが、その後の状況は如何か。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 林業について	<p>(1)明誠会で、林業政策について提言したが、その検討状況について伺う。</p> <p>①バイオマス事業は、各公共施設で稼働されているが、現在の需要と供給の状況は具体的にどのような状況か、併せて今後の需要の見通しについてはどうか。</p> <p>②吉田町に計画されている貯木場の計画の進捗状況を問う。</p> <p>③市民参加型収集運搬の対価引き上げについては当初予算にどのように反映されているのか。</p> <p>④市民負担を軽減するより良い収集運搬の方策と仕組みについての検討状況を伺う。</p> <p>(2)バイオマス事業を一手に引き受けていただいている、グリーンパワーうんなんの運営状況と今後の事業見通しについて伺う。</p> <p>(3)地震が多い我が国においては、建築材料には強い耐震性と耐火性が求められる。最近注目されているのが、CLT 製品である新しい木質構造材である。この建材を利用するメリットは、施工が短期でコンクリートより軽く、今後爆発的に需要が伸びる可能性を秘めている。</p> <p>①市内林業振興のためにも、この可能性の大きい新木造建材であるCLT を注視し、建築等への活用について調査・研究すべきと考える。市としても県への働きかけなども含めて、市内に工場建設などによる林業振興に取り組む考えはないか所見を求める。</p> <p>②集成材 LVL 製品について、雲南市産材としての活用を推薦提案しているが、その活用方法の研究は進んでいるのか問う。</p>	
			3. 農業関係について	(1)隣の奥出雲町では、たたら製鉄から生まれた棚田など、「たたら	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>て</p> <p>4. 財政問題・市役所の業務改革</p>	<p>農業」を日本農業遺産・世界農業遺産に認定の申請をおこなっている。市では、プレミアムつや姫「たたら焔米」をブランド米として、売り出しており、隣町の取組みと相乗効果を期待したいと思うが、市の取組みを伺う。</p> <p>(2) 低農薬・無農薬の環境に配慮した農業が求められ、つや姫など積極的に取り組まれている。</p> <p>①市はすべての農産物が、環境に配慮した地域として売り出すためにも、更なる農業振興をどのように促進していくのか、検討が必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>②耕作放棄地を活用しての環境農業特区のような大胆な取組みの考えを伺う。</p> <p>(3) 近年たびたび、鳥インフルエンザの発症事例が報告されている。市は養鶏が盛んな地域であるが、高病原性鳥インフルエンザの発症を防止するため、市内の養鶏業者の衛生管理はどのような状況か、JA 雲南との共同の指導体制なども確立されているのか伺う。</p> <p>(4) 次回の全国和牛能力共進会への取組みの指導会など、既に行われていると思うがその状況と種牛などに問題はないのか懸念について伺う。</p> <p>(1) 新市建設計画は、平成 16 年度から 31 年度までの 15 年間の計画とされているが、今回の合併特例債適用期限の再延長を受け、新市建設計画はどのように変化していくのか問う。</p> <p>(2) IoT 化の取組みや AI 等の技術革新による取組みは、橋梁・道路等の保全点検をセンサーやロボット・ドローン等を使い自動化・省力化をしていくことが可能である。IoT 化の推進について、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>市長の強いリーダーシップを以って市役所の業務全体の見直し・改善を進めることが大切で、このことが継続可能な運営ができると考えるが、この提案についての市長の見解を求める。</p> <p>(3)計画が計画でなくなり、計画が遅れている。これは職員の意識の問題であり、形式だけにとらわれず、スピード感を持った事業推進が求められるが市長の見解を求める。</p> <p>①6次産業化、永井隆記念館など当初予算にでさえ上がっていない、一体全体どう考えるべきか。</p>	
6	15	藤原信宏 (一問一答)	1. 行財政運営について	<p>(1)来年度一般会計当初予算の一般財源は臨時財政対策債を含んで、対前年度5億円弱の減額である。この減額について歳出面においてどの様に臨まれ、物件費・補助費や扶助費等、どうした経費にしわ寄せ、切り詰めざるをえなかったか。</p> <p>(2)維持補修については、早期に措置しないと事故につながる。機能回復・安全確保に係る維持補修費の重要性の認識と財源確保について所見を伺う。</p> <p>(3)実質公債費比率の抑制のために、収支不足の縮減に向けて、行政評価の反映や行財政改革、公共施設等総合管理計画などの着実な執行が求められる。対応に向けた決意の程を伺う。</p> <p>(4)合併特例債適用期限の再延長は喜ばしいことだ。フルに活用すべきだが、健全財政の維持を基本とし、実施計画における事業費の年度割を可能な限り平準化すべきと考えるが如何か。</p> <p>(5)適材適所に配属するための人事異動はどの様な方針で行われ、人事評価や自己申告による本人希望は十分活かされているのか伺う。</p> <p>(6)できるだけ適材適所の配置を行い専門性を高めるべきと考える</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. ふるさと納税制度の推進について</p> <p>3. 中心市街地R54沿線まちづくりについて</p>	<p>が、建築・土木等技術系職員の適正配置と新規採用の考えを伺う。</p> <p>(7)業務のスムーズな執行に向けて、技術指導や実務研修など、専門性を高める人材養成をどの様に行っているか。</p> <p>(8)来年4月の法改正に伴い、臨時・非常勤職員の役割を適正に評価しつつ、給与・手当等をどの様な基準のもとに処遇改善を図る考えか、基本的・総体的に簡潔な答弁を求める。</p> <p>(1)平成29年度の本市の実績は低い。厳しい現実をどの様に分析し、どうした対策を図ったのか。</p> <p>(2)今年度は飛躍的に伸びている。民間が運営する納税ポータルサイトへの登録によるところが大きいと考えるが、見解と取組み状況を伺う。</p> <p>(3)月々の携帯通信料金と合わせて一括で支払えると簡単便利だが、現状はどうか。</p> <p>(4)GCFを率先して活用されている。その実績と今後の活用方針を伺う。</p> <p>(5)本市の6月からの制度指定の申し出について確認し、返礼品の見直しや追加する産品があるか伺う。</p> <p>(6)色々な問題が指摘されている。見返りを求める現在の制度について、地方の代表者や都市部も加わって今一度、地方活性化につながるよう、より有意義なふるさと納税制度の設計見直しを議論すべきだと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(1)第4期工事となる国道54号4車三刀屋拡幅計画の取組み状況について伺う。</p> <p>(2)市道基町住宅線整備計画の進捗状況はどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)市道三刀屋下熊谷3号線改良計画の進捗状況はどうか。</p> <p>(4)SAKURA マルシェ新築工事の遅延について、遅延実態に合った工事費の増額等、施工業者の損害が補償されるか伺う。</p> <p>(5)SAKURA マルシェの出店について、飲食店に拘らず、観光案内所を兼ねて地元産の土産物等を販売する「観光センター」等を配置してはどうか。</p> <p>(6)天神頭首工の可動堰化について農業水路等長寿命化・防災減災事業が創設され、調査費が予算化された。十分な調査・検討を行って、是非とも治水の観点から、有効な可動堰を県主体での補助事業化につなげて頂くことを切望する。所見を伺う。</p>	
7	11	西村 雄一郎 (一問一答)	1. イノシシ被害防止対策について	<p>(1)全国、島根県、雲南圏域、雲南市のそれぞれのイノシシの被害額は、おおよそどれだけあるか、おたずねする。</p> <p>(2)鳥獣被害がどれだけ離農、耕作放棄につながっているのか、調査されているか。</p> <p>(3)イノシシ対策のための資材購入のための補助があるが、補助対象が電気牧柵、ワイヤーメッシュ購入費等に限定されている。トタンは高さ60cm。ガルバリウム鋼材は高さ60cm。効果が実証されているとの実感、経験がある。補助制度実現に向け検討すべきではないか。</p> <p>(4)既設の防護柵の更新は補助対象とされていない。農家はイノシシ対策に、長期間懸命に取り組んで来た。全くの新設は割合として低い。更新も補助対象とすべきと思うが伺う。</p> <p>(5)防護柵設置の労務費についても補助対象とすべきと思うが、その是非を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 三刀屋川土手、河川敷の美化について</p> <p>3. 永井記念館を中心とする施設整備について</p>	<p>(6) 檻、罌の購入費、駆除者への管理費も補助対象とならないか。 まもなく、花見シーズン、三刀屋川河畔にも多くの花見客が訪れる。三刀屋川の桜堤は長く、圧巻であると同時に、木次のお祭りとは趣が違い、落ち着いたそして、広い河川敷でピクニックのように、家族連れで弁当を広げることが出来る。子供達が走り回ることも出来る。</p> <p>(1) 雲南市設置、島根県設置の案内看板の老朽化が著しく、更新すべきと考える。市の考えを伺う。また、周知内容、デザインも改めていくべきだと思うがいかがか。</p> <p>(2) 坂山橋から天神頭首工の間は、特に左岸は毎年のように、河川敷に水が上がる。そのたびに河川敷が荒れ、大きな水たまり、ぬかるみが出る。花見シーズンに備え補修の考えがあるのか伺う。</p> <p>平成30年11月、飯石地区自主組織から、永井博士生い立ちの家、旧飯石小学校についての地元要望があった。</p> <p>(1) 永井博士旧宅の電気、トイレ、水道の取り設け、修繕は、いつ行われるのか。</p> <p>(2) 旧宅の茅葺き屋根の傷みはひどい。また、建物の考証、修繕も必要と考える。歴史的建造物として未来に渡す大作業が必要だ。多額の費用と、時間が必要である。計画的に進める必要があるが、中期財政計画にその施策がない。市の一つの大きな課題として計画をすべきと思うが、市の考えを伺う。</p> <p>(3) 旧宅に駐車場を設ける案の検討は進んでいるか。</p> <p>(4) 永井博士の散歩道があったという。京都の「哲学の道」のように親しまれる道、永井博士の物語のシンボルに出来ないか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(5)飯石小学校周りの草刈は管理業務委託費では、まかなえない。地元の収益も考えるべきと思うが。いかがか。美観整備作業をビジネスと捉え、労賃を積み上げた管理業務委託とすべきと考えるがいかがか。	
8	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 小中学校の問題 について 2. 公園施設の管理 整備について	(1)授業の ICT 化について ①児童生徒が、情報社会に対応できる「情報活用能力」を身に付けることの重要性が高まっている。市として、授業の ICT 化への取り組み状況を伺う。 ②市としての ICT 授業に対する一層の取り組み強化が必要と考えるが見解を伺う。 ③教育委員会による学校への更なるサポート体制の充実が必要と考えるが見解を伺う。 (2)市内、小中学校 4 校のプール敷地内にあるトイレがいまだに溜め込み式のトイレであると聞いた。衛生の面からも子ども達の精神的な面からも早急な改修が必要と考えるが見解を伺う。 (3)通学路の整備について、近年、立体的に浮き上がって見える路面標示が開発されている。市として、生徒児童の通学路の安全安心確保を図るため導入を考えてはと思うが見解を伺う。 (1)公園施設の管理について ①過去に公園遊具等の安全管理、パトロールについて質した。現在、継続的に管理されているのか。また、事故等は発生していないか伺う。 ②公園内に植樹された樹木が生長し、周辺の田畑に落葉や日陰等の障害を及ぼしていると聞く。市としての対応を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 犬・猫の保護状況について</p> <p>4. 5月の大型連休の対応について</p>	<p>③樹木が生長したことで公園自体が暗くなり防犯の面からも危険で使用しにくいと聞いた。対応を伺う。</p> <p>(2)大東公園について</p> <p>①大東野球場は排水が悪く、外野は晴れの日が続いても乾燥せず芝にも影響が出ている。競技者のケガを心配する声もあり対策が必要と考えるが見解を伺う</p> <p>②スコアボードも腐食が進み危険な状態となっている。整備が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③野球場に隣接する多目的広場も芝が剥がれ、サッカースポーツ少年団の練習にも支障をきたしている。また、ドクターヘリの離発着場にもなっていて夏場は粉塵がひどい、整備が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)犬の保護について</p> <p>①動物愛護活動も盛んになり、迷い犬や野犬等あまり見かけなくなったが、県内の保健所ではいまだに殺処分が行なわれている。市内の状況を伺う。</p> <p>②市内で保護された迷い犬等に対してはどのような対応が取られているのか。譲渡会などは行なわれているのか伺う。</p> <p>(2)猫の保護について</p> <p>①野良猫が増え生ゴミ等を荒らし困っているとの声を聞いた。猫の捕獲・保護対策はどのように行なわれているのか伺う</p> <p>(1)今年のゴールデンウィークは新天皇即位により10連休となるが、仕事を休めない家庭もある。保育園等が10連休ともなれば困る家庭も多いと思うが国は対策を出していない。市として何らかの対策を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>考えているのか伺う。</p> <p>(2)小中学校の授業数にも影響が出るようだが検討されているのか伺う。</p> <p>(3)雲南市立病院等医療機関の診療体制は検討されているのか伺う。</p> <p>(4)住民票交付等の本庁舎や総合センターでの窓口業務についての対応の考えは。</p>	
9	14	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 財政問題について</p> <p>2. 消防団の組織再編について</p> <p>3. 沖縄辺野古基地建設問題について</p>	<p>(1)来年度予算も基金取り崩しなど厳しい予算となっている。また、中期財政計画では普通建設事業費が見込めないなど将来不安があるがどのような財政運営を行っていくのか。</p> <p>(2)消費税増税が行われる予定だが、市民生活とともに雲南市にどのような影響を及ぼすと考えているか。</p> <p>(1)5年、10年先を見据えた組織再編の検討を進めたと表明されたが大丈夫なのか。</p> <p>(2)地域の消防団の重要性とともに、実態は消防署の充実強化を求めているのではないか。</p> <p>(1)沖縄辺野古基地建設が沖縄県民、また、沖縄県の意向を無視し進められている。この事態に自治体首長としてのどのような見解を持っているのか。</p>	
10	12	土 江 良 治 (一問一答)	1.「雲南丸」を沈めないための市長の決意	<p>市長は平成 31 年所信表明の冒頭で、昨年 10 月の総理の所信表明演説に続く橋本聖子参議院議員の雲南市の取り組み姿勢の好評価を全国発信していただいたことに触れ、これまでの取組みの成果の「見える化」が出来たと喜びの所信を述べられた。そして引き続き粘り強く諸課題に取り組んでゆくとされた。一方、政府は人口減少時代の自治体行政の検討に着手している。もう 20 年先の 2040 年頃に自治体職</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 荒廃化する森林 資源の利活用	<p>員は今の半数になり、都道府県・市町村制は現行のままで立ち行かないとして再設計を試みる。片や雲南市は高齢化などにより、持続的な生業継続が荒波に向かう病巣を抱えながら雲南丸を進めなければならない。そのため、平成 31 年度当初予算案は前年度に引き続き基金を取り崩す台所事情での予算編成。この 31 年度を市民が元気の源にするにあたり、人口減克服など諸課題へ何に腐心し、何を重点に意気込みを入れた予算にしたか。また、予算編成を終えての満足度など、改めて市民に決意を表明して欲しい。</p> <p>昨年 5 月に放置林拡大防止に期待される、自治体が管理権を取得できる森林経営管理法が成立した。この法の成立で所有者不明の森林を第 3 者が整備できるようになるのは一歩前進である。最速この制度の本格実施を円滑に進めるべく、職員を農林振興センターに派遣することを計画。その意気込みは大歓迎である。</p> <p>(1)この管理法による事業展開は派遣職員が帰ってから始まるのか。派遣と同時進行で推進組織が立ち上がり、所有者の意向調査などで集約化開始に向けて集積計画をつくってゆくのか。森林の集約化には時間と労力がかかる。地道な作業が待ち受ける。実質現場が動き出すのはいつ頃か。</p> <p>(2)そもそも放置林、所有者不明などの林地は赤道しかなく、農林道に接しない少し奥部に存在が多いと思われる。着手の早いところはいいが、なかなか順番が回ってこないことも考えられる。そこで、この管理法と別立ての補助制度を創設（森林環境譲与税活用）し、接する農林道から奥部へ 150m～200m の範囲で作業道の開設を進めていけば、熱源のチップの安定供給になるし、なによりイノシシの出没が減</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 継続的な医師確保対策	<p>と思われるがどうか。</p> <p>(3)森林所有者が経営管理できない森林については、市が森林の経営管理権を取得し、経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に委託、経営に適さない森林は市が自ら管理しなければならないとある。経営に適さない森林とは、また適さない森林は市が、とあるが、市は本当に自ら管理できるのか。</p> <p>厚労省はこれから17年先(2036)の不足医師数の推計予測を発表したことを新聞記事でみた。これに関連したことについて伺う。</p> <p>(1)予測によると島根県は医師確保が進んだ場合、プラス168人、進まなかった場合411人不足すると推計している。雲南市立病院の不足医師は1名と聞いているが、現在の県内病院ごとの過不足の現況はどうか。とりわけ知りたいのは救急搬送先の県立中央病院はどうか。また10万人当りの医師数はどのようになっているのか。これら数字から何が読みとられるのか。雲南市立病院の充足率100%はいつか。明るい見通しならどのような努力がなされたか。</p> <p>(2)H30年6月NPO法人「医療ガバナンス研究所」調査(H7～H26)結果の公表を新聞で見た。それによると、各都道府県の医師国家試験合格発表数と実際に増減した医師数の比較で、国家試験合格者数と照らし合わせて最も流出割が多かったのは①石川県68%、②島根県61%、③高知県56%、以下青森、秋田、山梨、福井、鳥取の5県で50%を越えている。一方県外からの流入率が最も高かったのは①千葉県で245%、②埼玉県224%、③静岡県72%、以下兵庫、広島も50%を超えていた。この状況を分析してみて全体としては医師が流出している自治体では人口当たりの医学部入学卒数が多く、流入し</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 地域新電力事業 参入検討事項につ いて	<p>ている自治体はその逆の傾向としている。17 年先の医師数を推計した厚労省も今後「地域枠」を医師確保が困難な地域に対して優先的に配分するなど対策を強化している。雲南市立病院が新築されたことによる医師の移動の影響はどのように考えるか。いつ多数の医師不足が生じるかわからない。地域枠がなければ地域医療は崩壊する。知るところによると鳥取大学の地域枠は定員の 29%で全国医大の中で 17 番目となっている。ちなみに島根大学の地域枠はどうか。医師流出県として更なる地域枠増と関係者に働きかける必要があると思うがどうか。</p> <p>2 月 19 日に地域エネルギー事業を軸とした地域活性化の実現を題した雲南市地域新電力会社設立検討講演会で興味深く話を聞いた。雲南市は地域新電力事業の可否を検討している。仕組みを簡単に云うと、市内などで発電（太陽光・水力・バイオマス）された電力を買い取り、中国電力よりも安価で公共施設、民間企業に販売するものだ。エネルギーの地産地消を進め生まれる利益をまちづくりに活用する（地域活性化の実現）ことであり、大変いいことである。そこで、次のことを伺う。</p> <p>(1) この事業参入への条件は。</p> <p>(2) 事業参入により安定した運営が可能と考えているか。</p> <p>(3) 新電力会社設立した場合の資本金はどの位のものか。運営を担うパートナー企業はあるのか。</p> <p>(4) 平成 31 年度からの取り組みはどうか。</p> <p>(5) 会社設立迄の期間はどれほどか。</p>	
11	21	周 藤 正 志		まちづくり、政治には長期的視点（未来）と喫緊（現在）への対応が	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	<p>1. 私たちのまちの未来予想図（2030年と2040年）</p> <p>2. 喫緊の課題への対応について</p>	<p>必要で、この両面から質す。</p> <p>(1) 全てのベースとなる人口はどのように予測しているか。</p> <p>(2) 「人口の社会増」に向けてどこに重点を置き取り組むのか。</p> <p>(3) 財政はようになっていくのか。特に将来世代の負担となる借金はどうか。</p> <p>(4) 膨大なインフラ、公共施設の維持・更新に対応できるのか。</p> <p>(5) 社会保障などセーフティネットは維持できるか。</p> <p>(6) 地域（自主組織や限界集落など）は守れるか。</p> <p>(7) 多文化共生社会を築けるか。</p> <p>(8) 経済縮小にどう対応していくか。</p> <p>(9) キャリア教育で人材育成の成果がでているか。</p> <p>(1) 中心市街地活性化事業における（仮称）SAKURA マルシェは大丈夫か。</p> <p>(2) 11月にオープンする清嵐荘において、質の高い食や接客（おもてなし）ができるのか。</p> <p>(3) 10月からの幼児教育・保育の無償化に対応できるのか。</p>	
12	9	佐藤隆司 (一問一答)	1. 第2次総合計画の前期計画の最終年次について	<p>(1) 2次総合計画の前期計画から後期計画について</p> <p>① 『人口の社会増』への挑戦に対する実績と評価を伺う。</p> <p>② その実績と評価を次期後期計画へどのようにチャレンジするためにチェンジされるのか伺う。</p> <p>(2) まち・ひと・しごと創生 雲南市総合戦略について</p> <p>① 産官学金労言士の関わりをどのように取り組まれ、次期計画策定されるのか伺う。</p> <p>② 結果としてパイの奪い合いであり、全国が同類事業となっている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 「活力と賑わい」 のまちづくりにつ いて</p> <p>3. 「健康長寿・生涯</p>	<p>ように思えるが見解を伺う。</p> <p>③国からの助成金を受けるための義務的な計画になっていないか、 地方創生は地方や本市への救世主的戦略になっているのか見解を伺 う。</p> <p>④中枢中核都市に対する支援策が打ち出されたがどのような評価を されているのか見解を伺う。</p> <p>(3)2つの計画の有効性について</p> <p>①2つの計画が存在するが、総合戦略は数値目標や重要評価指標 (KPI)を重要視されているところが総合計画と違う点であるとの認 識でいいのか伺う。</p> <p>②2つある計画は市民や本市にとって必要との認識なのか伺う。</p> <p>(1)「中国やまなみ街道」の雲南市域 61k m区間の4カ所のインター チェンジについて</p> <p>①「三刀屋木次インターチェンジ」の名称を変えるラストチャンス だ。現在の名称の決定の経緯も承知しているが、将来を見据え「雲南」 を周知・象徴できる名称に変更する考えを伺う。</p> <p>②尾道松江線は全線開通して4年目が経過し、2020年には5年の節 目を迎える。中国四国地域を結ぶ新たな広域連携軸の形成が期待さ れていたが現状の評価を伺う。</p> <p>③関係沿線市町は共に地域活性化の起爆剤としての活用を探られて いると思うが、広域連携がどのように協議がされているのか伺う。</p> <p>④開通後の節目を迎え、やまなみ街道に相応しいインパクトあるイ ベントの必要性を伺う。</p> <p>(1)健康づくり拠点整備事業で整備された温水プール「ラソソテ」に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			現役」のまちづくりについて	<p>ついて</p> <p>①当初見込みどおり、多くの市民の健康増進に結び付いているのか伺う。</p> <p>②市内温水プールとの優遇連携がどう図られ、温水プールの利用者の相乗効果が図られているのか、拠点施設オープン前と現状を伺う。</p> <p>③送迎バスのルートや時間は利用者に有効に機能し、利用者の拡大につながられているのか、利用者人数についても伺う。</p> <p>④遊学加茂スポーツクラブ会員と温水プール会員の利用には支障が生じていないのか伺う。</p> <p>⑤健康づくり拠点として機能をより発揮するとされているが、スポーツ振興や健康維持増進を担う体育協会・スポーツ推進委員会・運動指導員会・身体教育医学研究所うんなんなどの連携をどう図られ、機能展開されているのか現状と今後の取り組みを伺う。</p> <p>⑥基本計画に示されたH36年までの年次的な利用者の拡大計画は、指定管理料に大きく影響するが基本計画を信用していいのか伺う。</p> <p>⑦健康ポイントや健康マイレージについては、どのような調査・検討結果となったのかを伺う。</p> <p>⑧これまで紆余曲折した事業だけに、色々な議論があったことをさかのぼり、あらためてお聞きし確認する必要がある、厚生労働省の指定運動療法施設として認定申請などを伺う。</p> <p>(2) スポーツ振興と教育魅力化について</p> <p>①松江シティFCユース設立を受け、雲南市での活動拠点の調査費が新年度予算に計上された。具体的に何をどう調査されるのか伺う。</p> <p>②教育魅力化推進事業で取り込まれるのであれば、市内の保・幼・小・</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>中・高校の今後の将来ビジョン(市学校適正規模・適正配置基本計画・学校施設整備計画)も並行して検討されることが必要ではないか見解を伺う。</p> <p>③学校建て替えは、学校施設整備基本計画をまず策定することが急務だ。仮に策定されても、基本設計⇒実施設計⇒予算審査の手順と段階を考えれば最低でも3年はかかる。現在の中期財政計画と実施計画(H31年~H35年)には盛り込まれては無く、最短でもH36年以降となる。学校建て替え関連事業は、H35年度内に計上されていないが、今回示された計画どおりの認識でいいのか伺う。</p> <p>④教育魅力化のイメージや掛け声が先行し、実質の子育て・教育環境に対する認識度が低い。毎年、生まれくる子どもたちを少しでもいい環境で育てたいとの思いが感じられない。特にこのところの大型事業は、全て市民の多くが希望し要望されたハコ物(ハード事業)ではなく、市民感覚からすると優先度が随分乖離しているのではないかと思うが見解を伺う。</p>	
13	1	上代和美 (一問一答)	1. 農業問題について	<p>(1)昨年12月30日にはTPP11が発効し、今年2月1日には日欧EPAが発効し、日米FTAも協議が可能となっている。経験したことのない農産物市場開放が現実となってきている。安倍自公政権による農政は日本の農業、中山間地農業に多大な影響を及ぼすことになるかと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2)一方で国連は2018年からの10年間で「家族農業の10年」と位置づけている。家族農業が世界の食糧生産の80%以上を担い、飢餓と貧困を解消し、地球温暖化や環境破壊から人類の未来を守ることなどでも再評価されている。安倍農政は世界の流れと逆行しているが、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 国保問題について</p> <p>3. 特別支援学校の通学支援について</p>	<p>市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 家族農業や小規模農業を支えるためにも市単土地改良事業補助金の補助総額の拡充、補助率の拡充を考えるべきである。</p> <p>(4) 鳥獣被害、特にイノシシ防除における防護柵などの補助は、一定の期間があけば更新についても補助対象にすべきではないのか。また防除目的で効果が期待できるガルバルウム鋼板についても補助対象にすべきではないのか。</p> <p>(1) 他の公的医療保険に比べ、国保は加入者の多くが所得が低いのに保険料が一番高い。よって所得に占める保険料割合が高くなっている。高すぎる国保料の引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入するしかないと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 国保料の均等割は、子育て世帯にとっては、子どもが多いほど保険料負担が重くなる。</p> <p>国保の加入世帯で、子育て世帯はおよそ何世帯あるのか。</p> <p>(3) 法定減免の対象にならない場合、市単独でも子育て世帯の均等割の減免は考えられないか。</p> <p>(4) 資格証明書で医療機関を受診された場合、病院窓口での支払いは実際どういう対応を取られているのか。</p> <p>(5) 資格証明書を発行されている方は、病気であっても窓口負担が全額負担になるので、受診抑制がかかる。病気が重症化する可能性がある。市として何らかの対応はとられているのか。</p> <p>(民生委員さんに連絡を取っておくなど)</p> <p>(1) 特別支援学校(小・中)は義務教育と認識しているが、間違いないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 原発問題について	<p>(2)小・中学校の場合、遠隔地からの通学はスクールバスによって、市が責任を持っているが、特別支援学校の場合、遠隔地からの通学はどこが責任を持つのか。</p> <p>(3)現在、通学支援はどのようにされているのか。(費用負担も含めて)</p> <p>(4)通学における保護者負担、また、移動支援をしている事業者の費用負担が大きく、両者とも不安を持っておられる。同じ市に住む子どもとして、特別支援学校に通う子どもたちも全面的に公的な支援が必要ではないのか。</p> <p>(1)はたして原発はコストの安いエネルギーなのか。原発は凶りしれないコストで原発輸出もビジネスとして成り立たない状況である。また廃炉や核のゴミ処分のコストも明確になっていない。将来に、安全の面でも、コストの面でも大きな負担を残す原発はやめるべきだ。市長の見解を伺う。</p> <p>(2)島根原発2号機の適合性審査が終了すれば、稼働の可否を市長も議員も問われることになる。昨年の9月議会で、「稼働の可否の問題についてどういう見解をお持ちか」との質問に、「再生可能エネルギーが電力の主要手段ということになるまでは、(原発稼働は)やむをえない」との答弁だった。原発輸出の頓挫、世界の国ぐにの2030年再生可能エネルギー目標は、原発がもはや世界で主要な電力手段ではなくなっていることを意味しないか。見解を伺う。</p> <p>(3)原発問題は、多くの市民にとって重要な問題となっている。今後市民の声をどのように集約されるのか。</p>	
14	4	中村辰真	1. 待遇について	日本一の待遇を根ざし日々努力をされていると感じている。市民か	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	2. 主権者教育の現状について 3. 児童虐待防止について	<p>らの「親切に対応してもらった」との声も聴いている。しかし極めて少数ではあるが接客態度が好ましくないように見て取れる。電話の応対もままならないことこの上ないと感じる。</p> <p>(1) 市職員の接遇研修の現状を伺う。 (2) 民間企業では接遇に対して厳しく教育をされる。実際に市職員が民間企業に出向いての研修を行う考えはないか。 (3) 電話での応対は基本的に相手が通話を終了したのを確認してから切ることがマナーと考える。電話応対の研修はされているのか伺う。 (4) 「凡事徹底」接遇はできて当たり前。できなければ徹底して努力しなければならないと考える。ひとりの職員の振る舞いの市民に与える印象が市職員全体の印象に置き換わる事もあると考えるが見解を伺う。</p> <p>先日、出雲養護学校雲南分教室で主権者教育に関わらせていただいた。選挙権が18歳からとなり、さらに今年は大きな選挙が重なる年である。主権者教育に関わったことで、若い方々の意見は、素直でストレートであると感じた。</p> <p>(1) 今回は高校生であり、選挙権のある年代とない年代が混在する状況での主権者教育であったが、義務教育における主権者教育の実態を伺う。</p> <p>昨年12月定例会において、雲南市議会として「児童虐待防止対策の根本強化を求める意見書」を提出したが、今年1月に千葉県野田市在住の小学4年生の女兒が父親の虐待的行為を受け死亡する悲しい事件が起こった。昨年6月に発生した東京都目黒区で5歳の女兒が死</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 臓器移植普及推進、骨髄バンク等の啓発について	<p>亡した事件を受け全国的な取組強化、各所の連携強化が急がれていたさなかであった。</p> <p>(1)本市の児童虐待の現状は全国傾向と違い「ネグレクト」が多い。理由を伺う。</p> <p>(2)野田市での事件では、学校及び教育委員会の対応に問題があったと考える。本人の許可を得たとして、アンケート内容の開示を求めた父親に対し、開示した行動は極めて遺憾に思う。本市において同様の事案が生じ、情報公開条例に基づき開示請求があった場合、教育委員会としてどのように対応するのか見解を伺う。</p> <p>(3)母親は、DVが自身に及ぶことを恐れ、虐待をほう助するような行動をとっている。事前にDV等が行われていることが対応機関で確認できれば、子供の保護を最優先できたと思うが所感を伺う。</p> <p>(4)野田市の事案と昨年を目黒区での事案の共通項は転居である。関係各所の連携はもとより自治体間の連携強化と正確な情報の共有化が極めて重要と考える。本市においての関係各所との連携と情報共有の実態を伺う。</p> <p>(5)私たち一人一人が子供を虐待から守るとの強い決意がなければ、同じような事件はなくならないと考える。より一層の強固な取組や啓発活動が必要と考える。市長の見解を伺う。</p> <p>競泳の池江璃花子選手が白血病である事を告白された。これにより骨髄バンクへの登録者が増加したことは周知の通りである。一昨年より10月に臓器移植普及推進月間、骨髄バンク推進月間に合わせ市役所1階フロアをお借りして啓発展示を行っている。本年以降も継続して行うべきと考えている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 日本語指導が必要な児童生徒への支援について</p> <p>6. 木次線活性化について</p>	<p>(1)昨年行われた「世界糖尿病デー」では、ラメールと市立病院で啓発のライトアップが行われた。全国的に見れば臓器移植普及推進月間にも啓発のためのライトアップが行われている。小さい単位で行っている本市での臓器移植普及推進の啓発活動であるが、いわゆる「ランドマーク」に当たる場所のライトアップも含めて啓発と考えている。本市におけるランドマークについての考えを伺う。</p> <p>(2)チェリヴァ大橋にはライトアップの仕組みがある。ただし照らす光に色を付ける事は現状としては厳しいと聞く。最近ではLEDを使用した調光調色が可能な器具もある。この照明器具を変更してその時々のライトアップができないか伺う。</p> <p>(3)骨髄移植や臓器移植などに対しては個人の意思が尊重される。しかし意思表示を行っていない方も多いと考える。運転免許証や保険証の裏などには意思を示せるようになっている。移植に対して是とする方だけではなく、非とする方にも意思を示してほしいと考えるが所感を伺う。</p> <p>(1)島根県は、帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業として1億1073万の予算を計上された。この中に外国人の児童生徒や保護者との意思疎通を図るための多言語翻訳システム導入に対する支援が新規に盛り込まれた。過去に一般質問で、学校と児童生徒と保護者の間でのコミュニケーションが取れないことにより児童生徒が悲しい思いをした事例を紹介した。今回県が予算化した多言語翻訳システムについて本市として導入の考えはないか伺う。</p> <p>(1)木次線の活性化については多くの取り組みが行われている。大分県臼杵駅は「うに赤いハート」木次駅は「きに赤いハート」の駅</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>名案内板がある。2018年のバレンタインデーにあわせて設置された経緯があり担当の女性職員は「恋の聖地になってくれれば」との思いがあると語っていた。当然、木次駅もこの思いに乗っていただけるのではと考える。全国のJRには「〇〇すき」とつく駅が5箇所ある。木次駅以外はすべて九州であり最南端は鹿児島県の指宿駅である。この5駅の自治体に呼び掛け「スキスキサミット」を呼びかけてはどうかと考えるが見解を伺う。</p>	